

序章 ビジョンの策定について

1 ビジョン策定の趣旨

福山市は、2001年（平成13年）3月に福山市農業振興ビジョンを策定し、「持続性と活力に満ちた都市農業の確立」と「農」のある豊かな生活環境の創出」を基本理念に掲げ、また、中間年次に当たる2006年（平成18年）3月には、この間の農業を取り巻く環境変化に対応するため一部改定を行い、これまで基本理念の実現に向けて農業振興に取り組んできました。

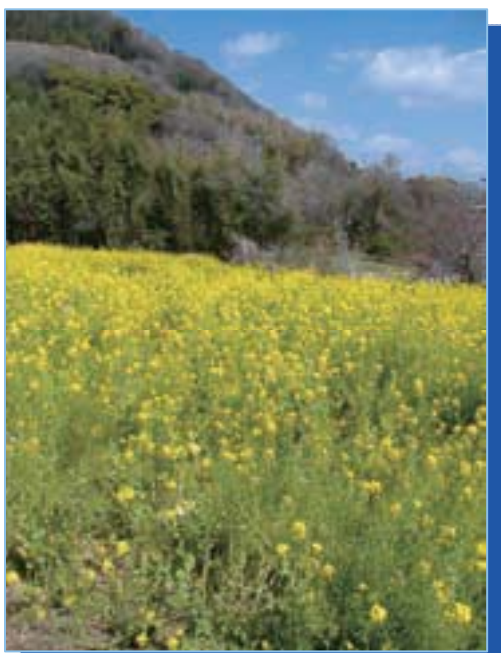
しかし、農産物価格の低迷や後継者不足、耕作放棄地の問題など農業を取り巻く環境は一段と厳しさを増しています。

一方、安心・安全な食の提供や農村環境の維持・保全の重要性が高まっています。

また、内海町、新市町、沼隈町、神辺町との合併により、新たな農業・農村資源を有することとなりました。

こうした中、国においては2010年（平成22年）3月に新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定し、「国民全体で農業・農村を支える社会」の創造を目指すことが必要であるとし、戸別所得補償制度の導入など農業は大きな転換期を迎えています。

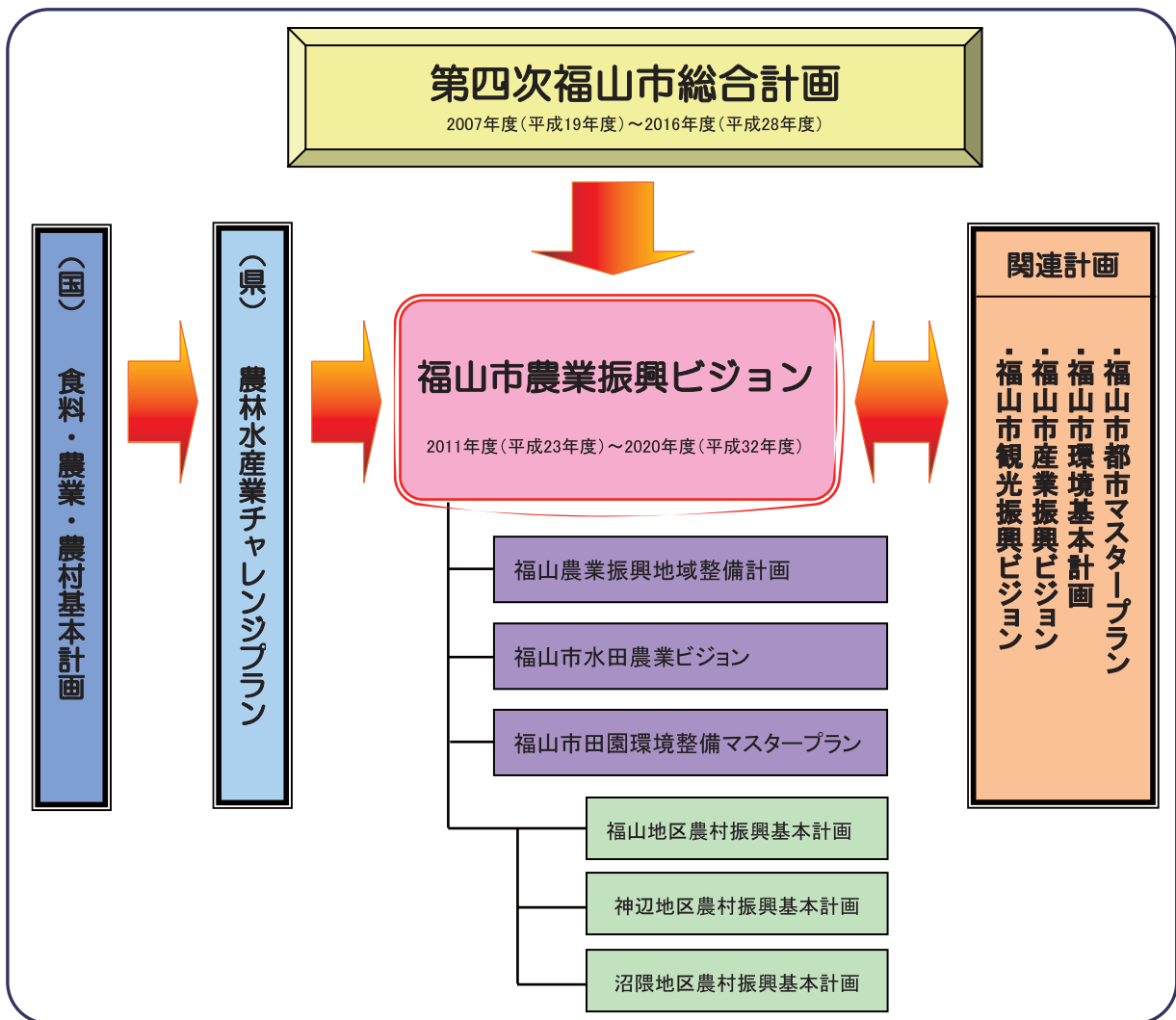
このビジョンは、これまでの成果を継承するとともに、新たな農業の潮流やこれからの農業者や消費者である市民のニーズに対応した本市の農業の将来像を明らかにし、その実現に向けて取り組みを行うために策定するものです。



2 ビジョンの位置付け

このビジョンは、本市の最上位計画である「第四次福山市総合計画」の分野別計画の性格を有するものです。

国の「食料・農業・農村基本計画」（2010年（平成22年）3月）や広島県の農業施策を踏まえつつ、「福山市農業振興ビジョン」（2001年（平成13年）3月策定）を発展的に継承し、本市の地域特性を活かした新たな将来像と基本目標を示し、施策の総合的かつ計画的な推進を図るものです。



3 目標年次

2011年度（平成23年度）を初年度として、2020年度（平成32年度）を目標年次とします。

また、中間年次に当たる2015年度（平成27年度）には農業を取り巻く情勢の変化及び施策の点検・評価を踏まえ、見直しを行います。